リーディングDXスクール事業 【実践事例】

大仙市立中仙中学校（秋田県）【指定校】

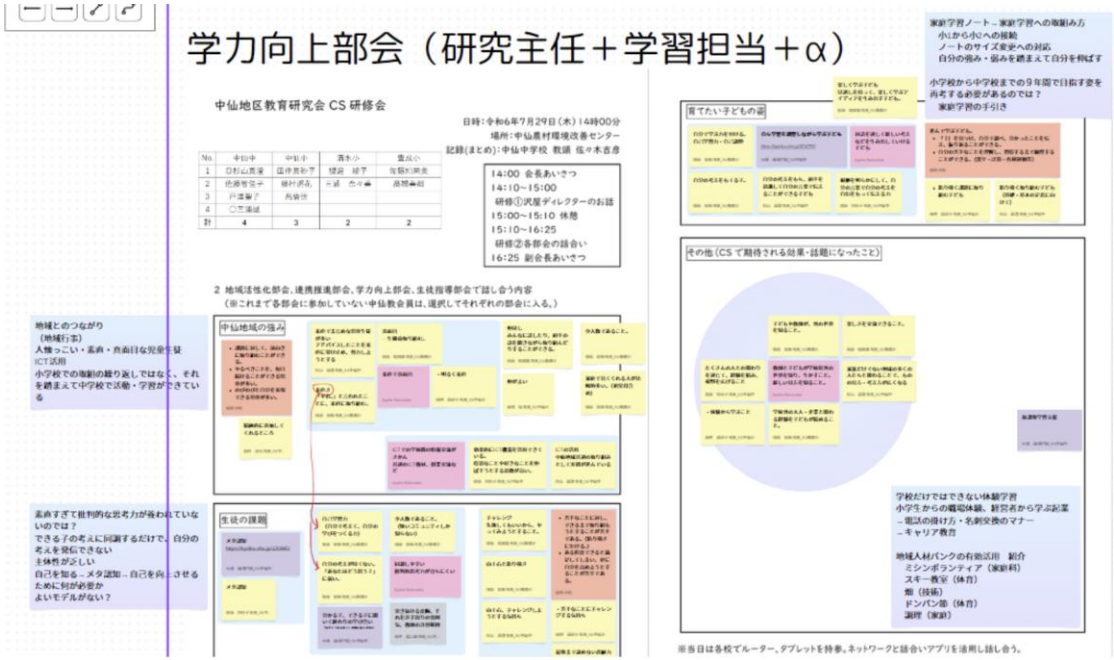
【取組内容】 クラウドを活用した研修内容の編集と共有

Before：地域の研修は主担当の教員が参集し、会議、その後各校で共有という形をとっていた。

After ：参集できる教員が集まり、クラウド上のホワイトボードを活用して意見集約、編集、共有という形をとった。参集できない教員もオンラインで参加することができた。

コミュニティスクールの研修をクラウドを活用して行った。意見交流ではデジタルホワイトボードを活用し、授業でも使える事例として研修に組み込んだ。研究協議会等でもデジタル付箋を活用することで、AIを使って項目ごとに瞬時にまとめることができる利便性を学んだ。

その他、中仙地区の校長会で話題に上がったことはすぐにまとめられ、地域の先生方が所属するTeamに配信されている。こうした教員の研修機会が授業でのICT活用にも生かされている。

研修のアウトプットをデジタルホワイトボードにすることで即時編集・共有を実現

校長部会の様子　中央にタブレットを配置しアウトプットと編集を行っている